

様式 2

会議結果のお知らせ

- 1 開催した会議の名称 平成27年度第1回大分県スポーツ推進審議会
- 2 開催日時 平成27年6月4日（木）13時30分から15時00分
- 3 開催場所 大分センチュリーホテル2階 桜の間
- 4 出席者（委員） 谷口委員、木津委員、青野委員、小野委員、岩尾委員
土江委員、岩本委員、石崎委員、松本委員、銅城委員、
高司委員、安部委員、丸山委員、村上委員（14名／19名）
（欠席） 牧委員、渚委員、笹原委員、土谷委員、角山委員
（陪席） 加藤県体育協会事務局長
（事務局） 工藤教育長、蓑田体育保健課長、谷川安全対策・管理監
井上体育・スポーツ振興監、石井課長補佐、飛弾課長補佐
栗林課長補佐、富賀見主幹、佐保主幹、安部主幹、
笠木指導主事、仲摩指導主事、安心院指導主事、島畑指導主事
（その他） 政策企画課小春主事
- 5 公開、非公開の別 公開
- 6 傍聴人数 0名 （マスコミ6社）
- 7 議題
 - （1） 大分県スポーツ推進審議会の役員選出について
 - （2） 大分県スポーツ推進計画（改訂版）素案について
 - （3） 県立屋内スポーツ施設について

8 主な内容

会の前に、大分県教育委員会から、大分県スポーツ推進審議会へ「県立屋内スポーツ施設の建設について」の諮問があった。

事務局から議事（1）について説明の後、新会長及び副会長を選出、議題（2）について説明し、承認を得た。また、議題（3）について説明を行い、委員からの質問、意見を求めた後、諮問内容について意見を求めた。

議事の概要、委員からの主な質問・意見は、次のとおり。

議題（1）大分県スポーツ推進審議会の役員選出について

小手川委員の辞任に伴い、新会長の選出を行った。委員の互選により、新会長には谷口副

会長を、1名空席となった副会長には、松本委員を選出した。

議題（2）大分県スポーツ推進計画（改訂版）素案について

- 総合型地域スポーツクラブの表記が、総合型クラブと混在しているので、統一した表記にしていきたい。
- 7ページの最初の部分は、総合型地域スポーツクラブとなっており、以下総合型クラブと表記されているので、それ以降については、総合型クラブと統一する。
- 「大分県スポーツ推進計画（改訂版）素案」について承認された。

議題（3）県立屋内スポーツ施設について

事務局から、県立屋内スポーツ施設あり方検討委員会提言書の内容、及び、県立屋内スポーツ施設を取り巻くこれまでの状況について説明

諮問内容を踏まえ、①スポーツ公園内に武道を中心とした屋内スポーツ施設を新設することについての是非、②現状の県立総合体育館の在り方、の2点について協議

①武道を中心とした県立屋内スポーツ施設の新設について

- 新施設の建設については、現在の飽和状態が解消されるので良いことである。大分には屋根付きの屋外運動施設が院内の石橋ドームしかない。PM2.5 や紫外線問題にも有効であるため、スポーツツーリズムの観点からも検討を願いたい。
- バリアフリーを強調することにより、トップスポーツだけではなく、広く県民が利用できる施設であると一般県民は感じる。
- 中学校部活動の立場から、スポーツ公園内に新設することについて賛成である。中学校の運動部活動加入は、ここ10年間で8割に減少し、武道は特に低下している。減少の要因の一つは、国際大会に触れることができないことでもある。大分スポーツ公園内にできることは中学校の運動部活動にとってプラスである。
- 大銀ドームの横に建設予定ということだが、アクセスは良くない。西駐車場に新設することになると、現在500台駐車可能な場所であり、500台分の駐車場も新設する必要がある。南側の整備や多目的広場を駐車場にする等も考えなくてはならない。また、公道にアクセスできる園内道路は西と東の2カ所であり、公道につながるアクセス道路を造る必要もある。H駐車場での建設であれば、アクセスも変わり渋滞緩和につながる。①駐車場の確保、②公道へダイレクトにアクセスできる、という2点を考えてもらいたい。是非現場の意見を吸い上げてもらいたい。

②現状の県立総合体育館の在り方について

- 中体連は、県大会や九州大会で多く使用している。中学の九州大会レベルであれば、十分実施できる。もし総合体育館が廃止になると、利用の飽和状態に陥ってしまうので、総合体育館を有効に活用させてもらいたい。
- 総合体育館はアクセスが良いので、より一層有効活用できるものに改修してもらいたい。また、野球場もあり、総合体育館の利用者と併せて駐車場の課題もあるので、駐車場の建設を考えてもらいたい。

